

エキサイトよこはま22における横浜駅西口駅前広場整備について（報告）

横浜駅周辺では、平成21年12月に策定した「エキサイトよこはま22」の計画実現に向け、まちづくりを推進しています。西口においては、東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて、開発ビル工事（JR横浜タワー）や地下街中央通路接続工事など、様々な事業が進行しています。

こうした中、横浜の玄関口に相応しい駅前広場の整備を目指して、7月上旬から横浜駅西口駅前広場整備工事に着手しますので、整備の内容と今後の進め方について、報告します。

1 整備の内容（位置図：別図のとおり）

中央西口駅前広場：屋根設置、舗装更新

きた西口駅前広場：屋根設置、舗装更新、昇降施設の設置・改修

2 整備の役割分担

中央西口駅前広場の地下街事業者である相鉄アーバンクリエイツ（相鉄UC）、駅寄りの土地所有者であるJR東日本と連携しながら、整備を進めていきます。

（1）中央西口駅前広場

関係者	役割分担
横浜市①	乗換利便性向上、バリアフリー対策として、屋根設置及びバスターミナル側の道路区域内の舗装更新 ※地下街への影響を考慮する必要があるため、工事は相鉄UCに委託予定
JR東日本②	JR用地の舗装更新
相鉄UC③	地下街出入口（高島屋前）の屋根設置

（2）きた西口駅前広場

関係者	役割分担
横浜市①	エレベーターの改修、屋根設置及び舗装の更新
JR東日本②	JR横浜タワー開業に合わせ、階段及びエスカレーター設置

3 工事スケジュール

西口駅前広場の整備については、多くの歩行者や駅利用者の安全性の確保や、東京オリンピック・パラリンピック中の利便性向上を図るため、東京オリンピック・パラリンピック前に整備する「Ⅰ期工事」、後に整備する「Ⅱ期工事」に分けて実施します。

（1）中央西口駅前広場

Ⅰ期工事として、横浜駅の顔となるJR横浜タワーのアトリウム正面の屋根を整備し、より多くの利用者の通行が見込まれる重要な動線を完成させます。

（2）きた西口駅前広場

Ⅰ期工事として、JR横浜タワー（令和2年度開業予定）の工事に合わせ、JR東日本が階段・エスカレーターを整備します。

屋根や舗装等の整備は、きた西口鶴屋地区市街地再開発事業や鶴屋町方面のデッキ工事の進捗に合わせて、Ⅱ期工事として本市が実施します。

	令和元年度		令和2年度以降	
	Ⅰ期工事		Ⅱ期工事	
中央西口	基礎工事、鉄骨工事 屋根設置工事（一部）	屋根設置工事	基礎工事、屋根設置工事、舗装更新工事	
きた西口	階段・エスカレーター工事		屋根設置工事、舗装更新工事、エレベーター改修工事	
スケジュール				

4 事業費

Ⅰ期工事（中央西口及びきた西口）については、約18億円を見込んでいます。

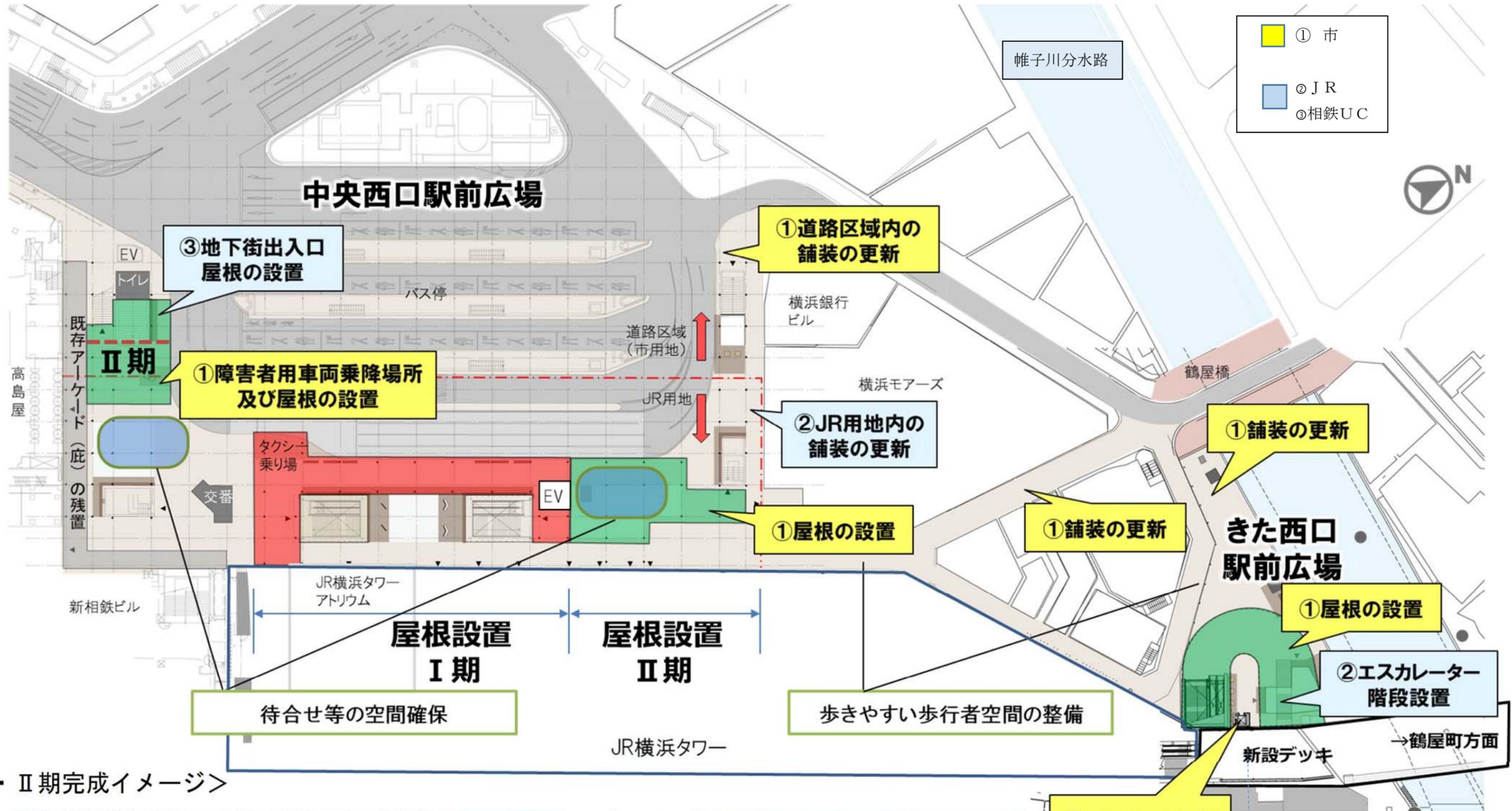
（なお、Ⅱ期工事については、今後、施工条件の調整を行ったうえで事業費を確定します。）

位置図及びイメージパース

<位置図>

<吹き出し凡例>

- ① 市
- ② JR
- ③ 相鉄UC



< I期・II期完成イメージ >



中央西口



きた西口

※周辺建物含む計画画像についてはイメージであり、今後変更となる場合があります。